

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP ALFALINK 茨木1プロジェクト(倉庫棟)	階数	地上6F
建設地	北部大泉都市計画事業南目黒・東野々宮土地区画整理事業地内12街区	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	336 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2022年11月16日
敷地面積	68,690 m ²	作成者	株式会社社中工務店
建築面積	29,855 m ²	確認日	2022年11月16日
延床面積	161,487 m ²	確認者	株式会社社中工務店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.4 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>フレキシビリティと将来対応を考慮したマルチテナント型倉庫を構築する。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>事務所内は十分な昼光および照度を確保するなど快適な室内環境を目指した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物に求められている機能が明確化されており、内装計画の段階で反映をしたインテリアパースなどで事前検討を行っている</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑の街区、緑のネットワークの形成を図り、物流倉庫で働く人や地域住民が快適に過ごせる環境を計画している</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>事務所換気的全熱交換器やLED照明の全面的な採用により、エネルギー使用量の削減を行う</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水に配慮し、超節水型衛生器具を採用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>通勤用送迎バスを運用するなど交通負荷低減を図っている</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	GLP ALFALINK 茨木1プロジェクト(倉庫棟)						
建設地	北部大阪都市計画事業南目垣・東野々宮土地区画整理事業地内12街区						
用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					4	
③	断熱性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				6	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							